

令和2年度第3回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 令和2年11月20日（金）
午前11時～

会 場 人材かがやきセンター研修室
（中央生涯学習センター5階）

次 第

1 開 会

2 議 題

（1）宇都宮市民大学運営協議会役員を選出について（会長・副会長）・・・資料1

（2）宇都宮市民大学運営協議会役員を選出について（監事）

（3）令和2年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について・・・資料2

（4）令和2年度宇都宮市民大学公開講座について・・・資料3

（5）令和3年度宇都宮市民大学講座企画・運営ボランティアスタッフ

企画講座の決定について・・・資料4

3 そ の 他

4 閉 会

宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間
(令和2年9月1日～令和4年8月31日)

令和2年9月1日現在

No.	氏名	所属団体等役職
1	あかば ゆきお 赤羽 幸雄	とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら センター長
2	あべ ゆり 阿部 ゆり	株式会社下野新聞社 編集局総務部長
3	えだ そういち 江田 壮一	宇都宮短期大学 事務局長
4	おおやま しんいち 大山 眞一	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ
5	かわしま やすお 川島 育郎	株式会社栃木放送 報道制作局長
6	かわもと きよし 川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
7	しまだ しげお 島田 繁雄	宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長
8	のなか まさとも 野中 正知	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
9	まちやま たえこ 待山 妙子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
10	まるやま じゅんいち 丸山 純一	宇都宮市民大学講座企画運営選考委員 文星芸術大学 副学長

(五十音順)

◎ 会長 ○ 副会長 ◇ 監事

宇都宮市民大学運営協議会運営要領

適用 平成 4 年 5 月 1 日
平成 12 年 7 月 1 日
平成 14 年 9 月 1 日
平成 16 年 4 月 1 日
平成 22 年 4 月 1 日
平成 22 年 9 月 1 日
平成 26 年 9 月 1 日
平成 27 年 4 月 1 日

(趣旨)

第 1 条 この要領は、宇都宮市民大学実施要綱（以下「要綱」という。）第 4 条第 4 項に規定する宇都宮市民大学運営協議会（以下「協議会」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、宇都宮市民大学に関し次の各号に掲げる事務を行う。

- (1) 講座の企画の承認に関する事
- (2) 運営に関する事
- (3) 予算及び決算の承認に関する事
- (4) 市内高等教育機関との共催事業に関する事
- (5) その他必要と認める事項

(組織)

第 3 条 協議会は、委員 10 人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから要綱第 4 条第 2 項に規定する学長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 生涯学習関係者
- (3) 宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

3 協議会は、専門講座の企画運営の選考をさせるため、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会を設置することができる。

4 第 2 項の委員のうち 1 名は、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員を兼ねるものとする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員がこれを互選する。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長が必要であると認めるときは、協議会の委員以外の者の出席を求めることができる。

5 前項に定める出席を求められた者は、議事の決定に加わることはできない。

(監査)

第7条 協議会に監事2人を置き、会長がこれを指名する。

2 監事は、協議会の会計を監査する。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、要綱第4条第5項に規定する事務局（教育委員会事務局生涯学習課）が処理する。

(補則)

第9条 この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(3) 令和2年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

資料 2

No.	【講座コース】 講座名 (開講数)	講 師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講決定数
1	【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】 天皇家と栃木県民と自然 ～栃木県の自然を愛される歴代天皇のお姿～ (全7回)	足利大学 工学部・共通教育センター 講師 大沼 美雄 氏 栃木県立博物館 特別研究員 星 直斗 氏 日光国立公園那須平成の森フィールドセンター センター長 若林 正浩 氏 那須・塩原郷土史家 臼井 祥朗 氏 宮内庁御料牧場 場長 菊池 淳志 氏	10/26～ 12/14	(30) [83] 45
2	【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】 大谷石のことをもっと知ろう ～石の街「うつのみや」であるために～ (全7回)	宇都宮市教育委員会事務局文化課 主幹 今平 利幸 氏 大谷石石材協同組合 理事長 石下 光良 氏 宇都宮市文化財保護審議委員会 委員長 橋本 澄朗 氏 委員 大嶽 浩良 氏 宇都宮美術館 専門学芸員 橋本 優子 氏 NPO法人大谷石研究会 理事長 塩田 潔 氏 株式会社テイクス設計事務所 代表取締役 武井 貴志 氏	10/29～ 12/10	(30) [40] 40
3	【今を読み解く現代社会コース】 [作新学院大学・ 作新学院大学女子短期大学部連携講座] 現代社会を読み解く知識と考え方 ～日々の暮らしをより豊かにするコツ～ (全6回)	作新学院大学女子短期大学部 教授 西田 直樹 氏 准教授 小林 育斗 氏 准教授 中川 仁美 氏 特任講師 石川 順章 氏 准教授 木村 雅史 氏	10/26～ 12/7	(30) [58] 46
4	【今を読み解く現代社会コース】 [文星芸術大学連携講座] マンガと日本人 ～マンガ媒体の発展・人の心を動かすメカニズム～ (全6回)	文星芸術大学 マンガ専攻 教授 堀江 一郎 氏	10/30～ 12/11	(30) [24] 24
5	【暮らしを彩る教養コース】 日本遺産「かさましこ」の世界 ～笠間焼・益子焼を極める～ (全7回)	益子町副町長・益子陶芸美術館長 横田 清泰 氏 茨城県陶芸美術館 副主任学芸員 飯田 将吾 氏 学芸員 芦刈 歩 氏 笠間焼伝統工芸士・陶芸家 額賀 章夫 氏 栃木県産業技術センター窯業技術支援センター 主任研究員 塚本 準一 氏 益子陶芸美術館 学芸員 松崎 裕子 氏 陶芸家 岩見 晋介 氏	10/29～ 12/10	(30) [35] 35
6	【暮らしを彩る教養コース】 不朽の名作には秘密がいっぱい ～あなたの知ってる西洋美術の世界？～ (全6回)	文星芸術大学 名誉教授 小林 利延 氏	10/30～ 12/11	(30) [93] 46
合 計			(募集定員) [応募者数] 受講決定数	(180) [333] 236

令和2年度宇都宮市民大学公開講座について

令和元年度まで、前期、後期講座の開講に際して「合同開講式・公開講座」を実施してきた。令和2年度からは、あり方を見直し、著名な講師を迎え、受講者の学習意欲の高揚や市民大学の更なる周知を図るため、「公開講座」を年1回独立した講座とした。

令和2年度は、新たな手法による公開講座の初回となるため、特に著名な講師を迎え下記のとおり実施する。

- (1) 実施日 令和3年3月6日(土)
開場 13:00 開演 13:50 (15:30 終了予定)
- (2) 会場 宇都宮市文化会館大ホール
- (3) 定員 先着500名
- (4) 受講料 1,000円 (公開講座受講者のみから徴収)
- (5) 内容
テーマ 東日本大震災から10年を迎えて
講師 笠井信輔氏(元フジテレビアナウンサー)
時間 1時間30分
趣旨 震災直後から現地取材し、自身のブログで「津波の『怖さ』をどう伝えるか？」など現在も震災の恐怖や課題を伝え続けている。昨年末悪性リンパ腫を患い、闘病され寛解に。震災を忘れず、今私たちにできること考え、若い世代につないでいく大切さを認識する機会とする。
- (6) その他 新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない状況であることから、今後も情勢を見極めつつ、「国・県イベント開催の制限の緩和」等を参考に、公開講座の実施の可否を判断する。
- (7) 応募状況 102名(令和2年11月16日現在)
- (8) 今後のスケジュール
 - 11月 広報うつのみやにて周知・募集
 - 12月 受講決定通知及び受講料払込書発送
 - 令和3年1月 チケットの発送(受講料の納付確認)
 - 3月6日 公開講座実施

令和3年度宇都宮市民大学Vスタッフ企画講座の決定について

1 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催状況

- (1) 開催日 令和2年11月10日(火)
- (2) 場所 人材かがやきセンター研修室
- (3) 審査方法 企画者によるプレゼンテーションの審査
- (4) 応募数 13講座【令和2年度前期5講座含む】
- (5) 選考数 12講座(3コース)【令和2年度前期5講座含む】

【参考】

コース	内 容
I 郷土を愛する 「宇都宮学」コース	地域の歴史や文化、産業、自然、民俗など地域の特質を学び、郷土「宇都宮」に誇りや愛着をもつための講座
II 今を読み解く 現代社会コース	個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしや地域コミュニティに活かしていく知恵を学ぶ講座
III 暮らしを彩る 文化・教養コース	芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

2 選考結果

コース別選定状況は別紙「令和2年度宇都宮市民大学講座企画選考委員会選考結果一覧表」のとおり。

令和2年度宇都宮市民大学講座企画選考委員会選考結果一覧表

(令和3年度実施 講座企画・運営ボランティアスタッフ企画運営専門講座 12講座【令和2年度前期5講座を含む】)

※★曜日・時間帯変更可

コース	番号	講座名	ねらい	時期※	企画者	得点	全体順位	委員コメント
I 「宇都宮学」 郷土を愛する	R2	名城に名将有り！下野の古城 ～館から城郭へ、 中世の城の役割を学んでみませんか？～	中世の下野の南部・中央部（宇都宮）・北部の地域に分け、特に国・県・市で指定された史跡等の貴重な城跡を中心にその時代に活躍した名将と名城を検証することで郷土「宇都宮」の歴史や特徴、文化を見直すことをねらいとする。	前期	宙(そら)	—	—	令和元年度選考委員会にてプレゼン・選考済
	R2	鬼怒川物語 ～宇都宮を流れる鬼怒川の昔と今～	「宇都宮の歴史」シリーズとして、今回は川をテーマに企画した。宇都宮の東部を流れる鬼怒川について、自然と人がどう共存して今日までの歴史を綴ったかを学び、今後の生活に活かすことをねらいとする。	前期	ともしび	—	—	
	1	とちぎの疫病にまつわる民俗	新型コロナウイルスが猛威を振るっている現在、先人がはやり病（疫病）をどうやって克服したかを「宇都宮」を中心とした栃木県の疫病をめぐる民俗の紹介や、はやり病への対処法を学び、郷土「宇都宮」の特色・文化を見直すことをねらいとする。	前期	中八連	187	5	・感染症が流行する中で時宜にかなったテーマである。民俗の事例が興味深い。 ・1回～4回と5回～6回が異質ではないか？タイトルに「災害」も加えるとよいのでは。
II 現代社会 今を読み解く	1	シニア世代の「こころ」と人間関係	高齢者の心理を概観し、年を重ねることによる高齢者の心の変化や、さらに人間関係の希薄化が人の心の変化にどのように影響しているか等について理解を深め、人との繋がりの重要性を再認識し、高齢期をよりよく生きることをねらいとする。	後期	グループ 緑	195	1	・シニア世代を対象とした講座はこれまでもあったが、心理学の視点で構成された講座は真新しさを感じる。社会に求められている企画だと思う。理論ばかりではなく、対応に係る実践的な内容が付加してくると良いと思う。
	2	栃木県のはやり病・伝染病・感染症 ～近世末から近現代の感染症を振り返る～	幕末からのはやり病・明治期の伝染病から最近の新型コロナウイルス感染症までを、栃木県を舞台に振り返り、いかに解決の道をとってきたかを学び、恐れるだけではなく今後の自身の生き方や生活に活かしていくかを学ぶことをねらいとする。	後期	ともしび	184	6	・大変しっかりとした企画と感じた。医療史としてとてもアカデミックで興味深い。 ・新型コロナや自らの生き方について考える機会を講座内で設けられると良いのではないかと。時宜にかなったテーマと思う。
III 暮らしを彩る文化・教養	R2	信長・秀吉・家康 ～戦国三大カリスマの知られざる実像～	三人の天下人の実像を、歴史に関わる新たな資料の発見を基に、戦国の世から天下統一までの正しい歴史像を知るとともに、天下人と東国との関係を学ぶことで、歴史の楽しさ・面白さを感じることをねらいとする。	前期	大山眞一	—	—	令和元年度選考委員会にてプレゼン・選考済
	R2	再入門！ たのしい科学 ～予想し実験で確かめる！あなたも科学者になれる～	物理の最も基本である、「力と運動」を分かり易く学ぶほか宇宙に話題を広げ、目に見えない原子・分子の世界を実験や模型を作ることなどで、だれにも楽しく理解できるように気づき、身の回りのさまざまな現象を体験することをねらいとする。	前期	みやの塾	—	—	
	R2	仏像に いやされて ～分かりやすい仏像の見方～	仏像シリーズを長年企画し続けてきたことで、専門的になり知識は深まったが、今回は初心に帰り、仏像に親愛の情が感じられるような基本的な仏像の見方について学び、豊かな人生に寄与することをねらいとする。	後期	ともしび	—	—	
	1	「渤海」という国を知っていますか？	中国東北地方(698～926年)に存在した渤海国。日本から外交使節が渡る一方、渤海からも来日しており菅原道真らがもてなすなど高いレベルの友好関係があった歴史は思いのほか知られていないことから未知のことを学ぶ楽しさを知ることをねらいとする。	後期 ★	ともしび	162	8	・交流史という視点だけではなく、地政学的視点からの切り口もあるのでは。 ・「幻の王国」を知る上では面白い。宇都宮にひも付けする必要もないが、なぜ今渤海なのか弱い。
	2	どうやって生まれた？動物たちのスゴ技 ～生き物たちの進化とサバイバル戦略を謎解く～	野生の生き物たちのサバイバル術から、私たち人間も予測不能な変化に際しての対応法や生き残るために何が大事かを考え、「生物多様性」は種の保存の観点からだけではなく、有効な戦略となることを生物進化の歴史から学ぶことをねらいとする。	後期	中八連	188	4	・大変興味深い話が聞けそうで期待がもてる。 ・動物から学ぶことが多々あることを知ることが出来る面白い企画だと思う。もう少しテーマを絞った方がわかりやすい構成になるのでは。
	3	ロマンとミステリー前方後円墳の魅力 ～国内各地で3～6世紀に造られた約20万基の古墳群、大型古墳前方後円墳の謎に迫る～	国内20万基存在する古墳からルーツを探り、毛野国から出土した240面の鏡や、古墳から出土した副葬品の宝物から古墳の魅力に触れ、古事記・日本書紀を中心に大和の大王を毛野国との関係性から、古代日本の成り立ちを学ぶことをねらいとする。	前期 ★	宙(そら)	189	2	・内容がよく具体化されている。 ・サブタイトルが長いので短くすると良い。 ・全国的な話と栃木県内の話がバランスよく組まれており、よく練られた企画と感じる。
	4	ここが変わる！日本の縄文時代 ～8,000年前の日本にすでに豊かな物質文化と精神文化が存在していた。～	考古学研究により新しい発見がなされ、物質文化と精神文化をはじめ、約3万年前に発生した始良火山の大噴火による環境の変化を受け、栃木の古代人達はどのように環境に順応したかを学び古代のロマンに触れることをねらいとする	後期 ★	宙(そら)	178	7	・縄文時代に学ぶべきことが多いので価値ある企画だと思う。もう少し栃木県・宇都宮市と関連したテーマにすると興味深くなると思う。 ・知らない遺跡を再発見する意味では面白い。
5	鬼先生の間探検講座 ～文化人類学の目で人類最大の謎に迫ってみよう～	「文化人類学」から、多様化する現代をしなやかに生き抜き、心豊かに暮らせるよう「常識」「当たり前」に固執せず、物事の本質を見極め、変化や多様性を柔軟に受け止め、楽しめるヒントを学ぶことをねらいとする。	後期 ★	大山眞一	189	2	・おもしろい切り口だと感じた。 ・ややこしい人間の存在を知る上で楽しい内容になりそう。 ・文化人類学の視点を興味深いテーマにしているのは良いが、もう少し親しみやすい内容にすると良いのではないかと。	

「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている

宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員名簿

任期：宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会運営要領第4条の規定による期間
 （令和2年9月1日～令和4年8月31日）

令和2年9月1日現在

No.	氏名	所属団体等役職
新 1	加藤 文雄 かとう たけお	宇都宮大学 総務部長（兼）広報・地域連携室長
新 2	須藤 泰志 すどう やすし	株式会社とちぎテレビ 役員待遇放送本部長
3	高田 玄 たかだ げん	栃木県教育委員会事務局 河内教育事務所 所長補佐兼ふれあい学習課長
新 4	長 茂男 ちよう しげお	株式会社エフエム栃木 常務取締役
◎ 5	丸山 純一 まるやま じゆんいち	宇都宮市民大学運営協議会委員 文星芸術大学 副学長
○ 6	山田 卓徳 やまだ たかのり	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長
新 7	渡邊 瑛季 わたなべ えいき	宇都宮共和大学 都市経済研究センター 副センター長
8	秋山 黎明 あきやま としあき	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 課長
9	松本 邦夫 まつもと くにお	宇都宮市教育委員会 中央生涯学習センター 所長
10	高橋 依子 たかはし よりこ	宇都宮市教育委員会事務局 会計年度任用職員 人材かがやきセンター支援業務

(No 1～7：五十音順)

◎ 委員長 ○ 副委員長

応募企画曜日別開催希望一覧

※開催期間（曜日・時間を含む）は、企画者の第一希望

※★曜日・時間帯変更可

前 期 【大学連携】宇都宮共和大学					
実施専門講座数7講座（内Vスタッフ企画運営6講座【R2前4】） 選考数2					
	月	火	木	金	土
午前	【Ⅰ 宇都宮学】R2 名城に名将有り！ 下野の古城 （宙）	【Ⅰ 宇都宮学】R2 鬼怒川物語 （ともしび）		【Ⅰ 宇都宮学】 とちぎの疫病にま つわる民俗 （中八連）	【Ⅲ 教養】R2 再入門！ たのしい 科学 （みやの塾）
午後	【Ⅲ 教養】R2 信長・秀吉・家康 （大山眞一）	【Ⅲ 教養】★ ロマンとミステリー 前方後円墳の魅力 （宙）	宇都宮共和大学連携講座（予定） タイトル：未定 実施日：未定		
夜間					
後 期 【大学連携】帝京大学					
実施専門講座数7講座（内Vスタッフ企画運営6講座【R2前1】） 選考数5					
	月	火	木	金	土
午前	【Ⅲ 教養】 どうやって生まれ た？動物たちのスゴ 技 （中八連）	【Ⅲ 教養】R2 仏像にいやされて （ともしび）	【Ⅱ 現代社会】 シニア世代の 「こころ」と人間 関係 （縁）	【Ⅲ 教養】★ ここが変わる！日本 の縄文時代 （宙）	
午後		帝京大学連携講座（予定） タイトル：未定 実施日：未定		【Ⅲ 教養】★ 鬼先生の人間探検 講座 （大山眞一）	【Ⅱ 現代社会】 栃木県のはやり病・ 伝染病・感染症 （ともしび）
夜間					

※ 前期及び後期の各コースのバランスについては、実施講座決定後に事務局が講師及び企画者と調整を行う。